

事業コード	03020101		政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略				
事業名	地域特産品サポート事業		施策コード	02	施策名	秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大				
部局名	観光文化スポー	課室名	秋田うまいもの販売課	指標コード	01	施策目標(指標)名	県外市場にチャレンジする食品事業者群の育成			
			班名	調整・食品産業振興班	(tel)	8602258	担当課長名	草薨作博	担当者名	佐藤 徹

評価対象事業(計画)の内容 事業年度 平成26年度 ~ 平成28年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 平成24年における本県の食料品等製造出荷額は913億円で、東北最下位、全国で44位と低迷している。また、他県と比較しても、一事業所当たりの従業員数や出荷額が少なく、従業員9人以下の小規模事業者の占める割合が高くなっており、コスト競争力が劣るほか、県外での営業活動や販売経験、取引実績等の不足、マーケットの動向や消費者のニーズに対応した商品づくりが進んでいないなどの課題を抱えている。県際収支の改善や、地場の農産物を活かした秋田ならではの商品づくりが求められている。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 意欲ある食品事業者群の育成と食品産業関連業種のネットワーク化を促進することにより市場ニーズに対応した商品づくりを強化し、ターゲットと地域を明確化した戦略的なプロモーションを展開することで、食品産業の振興を図る。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: 年 月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に 中小企業振興条例策定のための企業訪問等による)
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法
 事業の実施主体 県
 事業の対象者・団体 食品事業者
 達成のための手段
 食品事業者群の育成を図るため、課題解決を支援するネットワークの構築、食品事業者の育成を図るためのセミナー等の実施、製品開発、製品改良及び加工設備導入に対する支援、マッチング専門員等により食品事業者の商品開発・販路開拓、農林漁業者とのマッチングを支援するとともに、特産品開発コンクールやパンフレットの活用による売り込み支援を行う。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 既存の食品産業団体への補助等による事業の実施も考えたが、団体の会員数が減少傾向であるなど、事業実施体制が不十分であり、県内全域の事業者を対象にする事業の実施は困難であり、現段階では県が直接実施することが有効性が高いと判断する。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体(最終)計画
01	魅力ある食の特産品づくり支援事業	魅力ある食の特産品の新規開発・製品改良及び加工機能向上のための設備導入を行う事業者に対して支援する。	17,998	17,998	17,998				53,994
02	地域特産品づくりネットワーク構築事業	食品事業者群の育成を図るため、課題解決を支援するネットワークを構築するとともに特産品開発コンクール等により事業者の取り組みをサポートする。	17,473	17,473	17,473				52,419
財源内訳			35,471	35,471	35,471				106,413
国庫補助金									
県の債									
その他の			35,471	35,471	35,471				106,413
一般財源			0	0	0				0

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		秋田オリジナルの商品開発で県外市場への売り込みを図り、食品製造業の拡大を図る。							
指標	指標名	食料品・飲料等の製造出荷額					指標の種類		
	指標式	統計調査結果による					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a			1,158	1,176	1,207	1,233		
	実績b	1,136	データ等の出典						
	東北 全国	秋田県工業統計調査のうち食料品製造品出荷額と飲料の出荷額の合計							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 10月 翌々年度 月									

指標	指標名	新商品開発件数					指標の種類		
	指標式	開発実績による					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
	目標a			80	80	80	80		
	実績b	117	データ等の出典						
	東北 全国	県事業等のとりまとめ結果							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
<p>現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性</p> <p>本県の強みをフル活用した秋田オリジナルな商品開発を促進し、県外や海外のマーケットに果敢に挑戦する食品事業者群の拡大を図るとともに、様々な課題の解決に当たっては、川上から川下まで関連する事業者・生産者等が連携して対処することが効果的であり、事業の必要性は高い。</p>	
<p>住民ニーズに照らした事業の必要性</p> <p>小規模でもやる気のある事業者があり、独自に努力しているが、商品づくりや販路拡大が課題であり、それに関する情報入手への困難さを感じているとともに、同じような仲間との交流を求めているなどこれらの事業者のニーズに対応する必要がある。</p>	
<p>事業の県関与の必要性</p> <p>法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの</p> <p>秋田県の食品製造業は小規模・零細な事業者が多く、事業者団体の活動も資金的な制約等から十分とは言えないことから、県が関与して取り組みを促進する必要がある。</p>	

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 その他